

株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
 定時株主総会 毎年5月
 基準日 毎年2月末日
 その他必要あるときは、あらかじめ公告いたします。
 配当金受領株主確定日 毎年2月末日及び中間配当を実施するときは8月31日
 公告方法 電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。
<http://www.takeuchi-mfg.co.jp/>
 ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告ができないときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 (お問合せ先) 〒137-8081
 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

当社ホームページ

(<http://www.takeuchi-mfg.co.jp/>)



株主の皆さまの声を聞かせください

当社では、株主の皆さまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
 アクセスコード 6432

いいかぶ 検索

空メールによりURL自動返信
 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
 アンケート回答用のURLが勝手に自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

●ご回答いただいた方の中から抽選で厚謝(図書カード500円)を贈らせていただきます

※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なくこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL: 03-5777-3900 (平日 10:00~17:30)
 「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com

TAKEUCHI

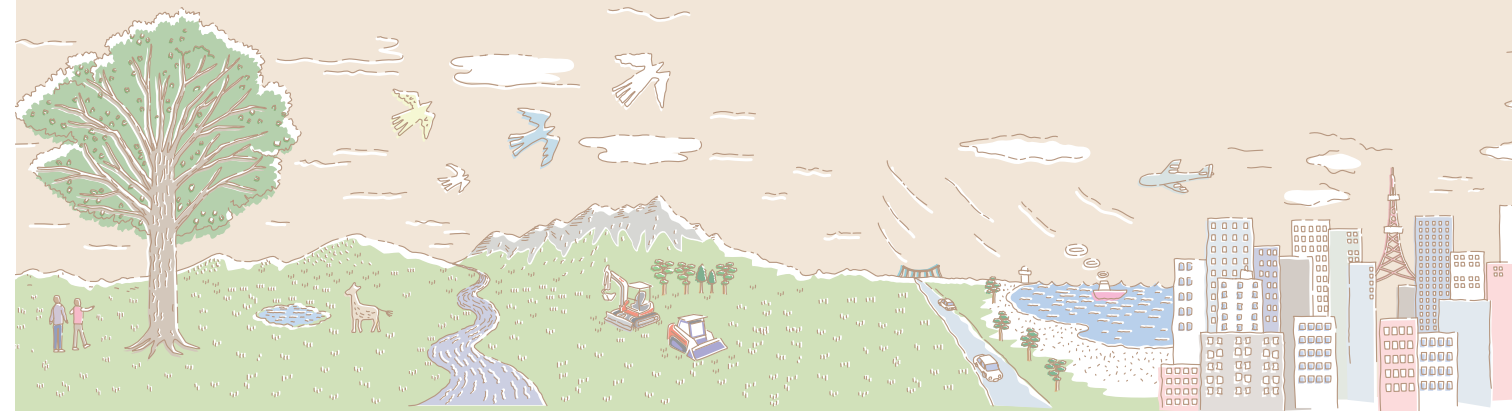
株式会社 竹内製作所

本社：長野県埴科郡坂城町上平205 〒389-0605

TEL (0268) 81-1100 (代表) FAX (0268) 81-1127

表紙イラスト：田之脇 篤史
 Illustration: Atsushi Tanowaki

世界初から世界のTAKEUCHIへ
 TAKEUCHI: From World First to World Leader



第46期 中間報告書

平成19年3月1日から平成19年8月31日まで

TAKEUCHI
 株式会社 竹内製作所

STOCK
 JASDAQ
 証券コード 6432



To Our Shareholders

株主の皆様へ

■ ご挨拶

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

ここに第46期中間報告書をお届けするに当たり、株主の皆様から平素より賜っておりますご支援に対しまして、心から厚く御礼申し上げます。

さて、当中間連結会計期間の業績の概況につきましては後記の「当中間連結会計期間の概況」に記載のとおり、主力事業の建設機械事業の好調などにより、売上高、経常利益及び中間純利益ともに過去最高を更新することができましたことをご報告申し上げます。

今後の経営環境につきましては、当社の主力製品でありますミニショベル及びクローラーローダーは、同業他社においても新製品の投入及び生産能力の拡充などが図られており、競争が激化しております。また、鋼材等の素材価格及び原油価格の高止まりによるコストアップが懸念されております。

このような状況下、当社グループは安全性・安定性・操作性・居住性・耐久性などで競争力のある製品開発を行ってまいります。また、平成18年8月より生産を開始した竹内工程機械（青島）有限公司において、生産機種数の増加、生産効率の向上及び販売網の整備・拡充を行い、ミニショベル及び油圧ショベルの中国での販売増加を図ります。

今後とも、お客様の信頼と満足を得る製品づくりに努め、更なる業容拡大のために邁進する所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成19年11月



代表取締役社長

竹内 昭雄

■ 当中間連結会計期間の概況

当社グループは、米国において、住宅市場の調整を受けてミニショベル及びクローラーローダーの需要の減少への対応として販売促進策を実施しましたが、販売台数は減少しました。これらの状況を踏まえ、中南米への参入を図るために米国の販売子会社において販売網の構築に着手しました。欧州においては、市場の拡大と新規顧客の獲得により、ミニショベル及び油圧ショベルの販売台数が大幅に増加しました。また、経済成長の著しいロシアにおいては、ディーラー網の拡大を図り、モスクワで開催された展示会に出品しました。中国においては、販売網の整備・拡充を行いました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は477億5千7百万円（前年同期比17.3%増加）となりました。利益面につきましては、原油価格や鋼材価格等の値上りによる材料費の増加などの減益要因がありましたが、米ドル・ユーロ・英ポンドの外国為替相場が前年同期に比べて円安に推移したことや、売上高の増加などにより、営業利益は72億5千9百万円（同34.7%増加）、経常利益は67億2千7百万円（同18.5%増加）、中間純利益は41億2千2百万円（同14.9%増加）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

（建設機械事業）

建設機械事業では、米国において、住宅市場の調整を受けてミニショベル及びクローラーローダーの需要の減少により販売台数が減少しましたが、欧州では、市場の拡大及び新規顧客の獲得により、ミニショベル及び油圧ショベルの販売台数が大幅に増加したことにより、売上高は473億2千1百万円（前年同期比17.3%増加）、営業利益は76億3千4百万円（同33.0%増加）となりました。

（その他事業）

その他事業では、攪拌機の販売が増加したことにより、売上高は4億3千5百万円（前年同期比8.0%増加）、営業利益は2千2百万円（同71.2%増加）となりました。

■ 当期の見通し

下期は、米国では引き続き住宅市場の調整が続くものと予想しており、ミニショベル及びクローラーローダーの需要は低調に推移すると見込んでおります。欧州では引き続きミニショベル及び油圧ショベルの需要は堅調に推移すると見込んでおります。中国では販売網の整備・拡充を図ります。

この結果、通期の業績見通しについては、次のとおり見込んでおります。

（連結業績の見通し）

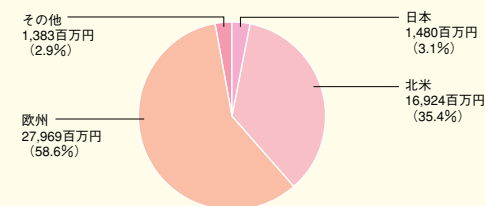
売上高	86,600百万円	（前年同期比17.0%増加）
経常利益	11,500百万円	（前年同期比17.4%増加）
当期純利益	7,000百万円	（前年同期比16.5%増加）

（単独業績の見通し）

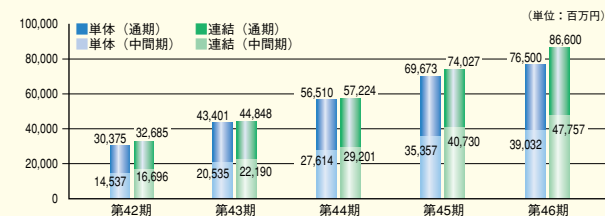
売上高	76,500百万円	（前年同期比9.8%増加）
経常利益	8,800百万円	（前年同期比6.8%増加）
当期純利益	5,250百万円	（前年同期比4.4%増加）

本業績見通しにおける下期の外国為替レートは、1米ドル=115円、1英ポンド=228円、1ユーロ=153円、1元=15円を前提としております。

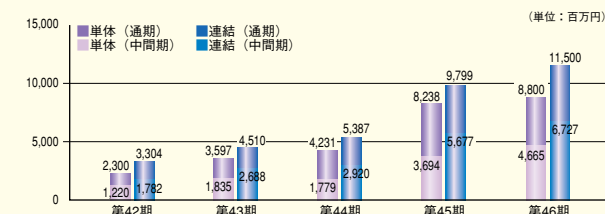
● 地域別売上構成



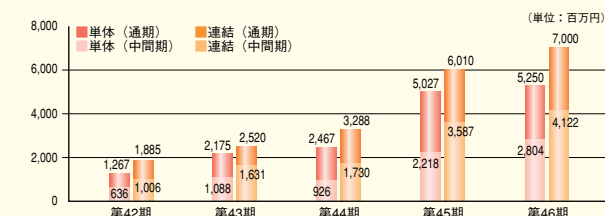
● 売上高



● 経常利益



● 中間（当期）純利益



（注）第46期通期は、予想値を使用しております。

Consolidated Financial Data

連結財務諸表(要旨)

貸借対照表

(単位: 百万円)

区分	前中間期 自平成18年8月31日現在	当中間期 自平成19年8月31日現在	前期 自平成19年2月28日現在
資産の部			
流動資産	41,271	51,209	45,658
固定資産	11,068	11,876	11,607
資産合計	52,339	63,085	57,266
負債の部			
流動負債	27,926	30,834	30,173
固定負債	682	1,537	607
負債合計	28,608	32,372	30,781
純資産の部			
株主資本	23,532	29,771	25,954
資本金	3,321	3,321	3,321
資本剰余金	3,320	3,320	3,320
利益剰余金	16,890	23,130	19,313
自己株式	△1	△1	△1
評価・換算差額等	199	941	530
その他有価証券評価差額金	105	100	112
為替換算調整勘定	93	841	418
純資産合計	23,731	30,712	26,485
負債純資産合計	52,339	63,085	57,266

損益計算書

(単位: 百万円)

区分	前中間期 自平成18年3月1日 至平成18年8月31日	当中間期 自平成19年3月1日 至平成19年8月31日	前期 自平成18年3月1日 至平成19年2月28日
売上高	40,730	47,757	74,027
売上原価	31,375	35,856	56,579
売上総利益	9,354	11,900	17,448
販売費及び一般管理費	3,965	4,641	7,967
営業利益	5,388	7,259	9,480
営業外収益	592	250	642
営業外費用	304	781	324
経常利益	5,677	6,727	9,799
特別利益	57	23	89
特別損失	11	1	53
税金等調整前中間(当期)純利益	5,723	6,749	9,835
法人税、住民税及び事業税	2,338	2,597	4,465
法人税等調整額	△202	28	△640
中間(当期)純利益	3,587	4,122	6,010

キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

区分	前中間期 自平成18年3月1日 至平成18年8月31日	当中間期 自平成19年3月1日 至平成19年8月31日	前期 自平成18年3月1日 至平成19年2月28日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,028	6,653	723
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,336	△627	△2,717
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,217	△1,105	974
現金及び現金同等物に係る換算差額	△161	△712	△884
現金及び現金同等物の増減額	△688	4,207	△1,904
現金及び現金同等物の期首残高	6,517	4,613	6,517
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	5,828	8,820	4,613

中間連結株主資本等変動計算書

当中間期(自平成19年3月1日 至平成19年8月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				評価・換算差額等			純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定		評価・換算 差額等合計
平成19年2月28日 残高	3,321	3,320	19,313	△1	25,954	112	418	530	26,485
中間連結会計期間中の変動額									
剰余金の配当			△306		△306				△306
中間純利益			4,122		4,122				4,122
自己株式の取得				△0	△0				△0
株主資本以外の項目の中間 連結会計期間中の変動額(純額)						△11	422	410	410
中間連結会計期間中の変動額合計	-	-	3,816	△0	3,816	△11	422	410	4,227
平成19年8月31日 残高	3,321	3,320	23,130	△1	29,771	100	841	941	30,712

Non-Consolidated Financial Data

単体財務諸表(要旨)

貸借対照表

(単位: 百万円)

区分	前中間期 自平成18年8月31日現在	当中間期 自平成19年8月31日現在	前期 自平成19年2月28日現在
資産の部			
流動資産	34,425	37,852	33,806
固定資産	9,349	9,714	9,784
資産合計	43,774	47,567	43,590
負債の部			
流動負債	23,966	21,628	21,053
固定負債	637	1,468	552
負債合計	24,604	23,097	21,605
純資産の部			
株主資本	19,064	24,371	21,872
資本金	3,321	3,321	3,321
資本剰余金	3,320	3,320	3,320
利益剰余金	12,422	17,730	15,232
自己株式	△1	△1	△1
評価・換算差額等	105	98	112
その他有価証券評価差額金	105	98	112
純資産合計	19,170	24,470	21,985
負債純資産合計	43,774	47,567	43,590

損益計算書

(単位: 百万円)

区分	前中間期 自平成18年3月1日 至平成18年8月31日	当中間期 自平成19年3月1日 至平成19年8月31日	前期 自平成18年3月1日 至平成19年2月28日
売上高	35,357	39,032	69,673
売上原価	29,253	30,920	56,895
売上総利益	6,104	8,112	12,778
販売費及び一般管理費	2,732	3,018	5,314
営業利益	3,372	5,093	7,464
営業外収益	577	210	956
営業外費用	255	638	182
経常利益	3,694	4,665	8,238
特別利益	7	22	28
特別損失	9	1	46
税引前中間(当期)純利益	3,693	4,686	8,220
法人税、住民税及び事業税	1,512	1,852	3,284
法人税等調整額	△37	28	△92
中間(当期)純利益	2,218	2,804	5,027

中間株主資本等変動計算書

当中間期(自平成19年3月1日 至平成19年8月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本							自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	純資産 合計
	資本金	資本剰余金 資本準備金	資本剰余金 資本剰余金合計	利益 準備金	利益剰余金 利益剰余金合計	その他利益剰余金 別途積立金	繰越利益剰余金					
平成19年2月28日 残高	3,321	3,320	3,320	22	9,560	5,650	15,232	△1	21,872	112	112	21,985
中間会計期間中の変動額												
別途積立金の積立て					4,500	△4,500	-		-			-
剰余金の配当						△306	△306		△306			△306
中間純利益						2,804	2,804		2,804			2,804
自己株式の取得								△0	△0			△0
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額)										△13	△13	△13
中間会計期間中の変動額合計	-	-	-	-	4,500	△2,001	2,498	△0	2,498	△13	△13	2,485
平成19年8月31日 残高	3,321	3,320	3,320	22	14,060	3,648	17,730	△1	24,371	98	98	24,470

竹内工程機械（青島）有限公司、開業式典開催



竹内工程機械（青島）有限公司、開業式典

平成19年7月3日に、竹内工程機械（青島）有限公司の工場敷地内に設置した特別会場において、青島開発区政府の書記様をはじめ、共産党議長様、政府関係者の方々、販売代理店の皆様、現地協力会社の皆様、マスコミの方々など約200名をご招待し、開業式典が盛大に開催されました。

Stock Information

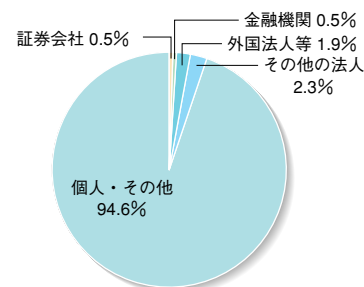
株式の状況（平成19年8月31日現在）

発行可能株式総数	46,000,000株
発行済株式の総数	15,310,000株
単元株式数	100株
株主数	5,475名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
竹内 敏也	1,298,000	8.4
竹内 明雄	900,700	5.8
東京中小企業投資育成株式会社	606,000	3.9
株式会社 テイク	600,000	3.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	560,000	3.6
竹内 好敏	500,000	3.2
株式会社 八十二銀行	480,000	3.1
竹内 民子	480,000	3.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	473,300	3.0
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	459,320	3.0

所有者別分布状況



会社概要（平成19年8月31日現在）

商号 株式会社竹内製作所
 (英文社名) TAKEUCHI MFG. CO., LTD.
 本店所在地 〒389-0601 長野県埴科郡坂城町大字坂城9347番地
 (同所は登記上の本店所在地で、実際の業務は下記で行っております。)
 〒389-0605 長野県埴科郡坂城町上平205
 代表取締役社長 竹内 明雄
 設立年月日 昭和38年8月21日
 資本金 3,321百万円
 事業内容 建設機械、攪拌機及び環境機器等の開発、製造及び販売
 従業員数 525名
 上記従業員のほか、57名の臨時従業員がおります。

■ 役員状況（平成19年8月31日現在）

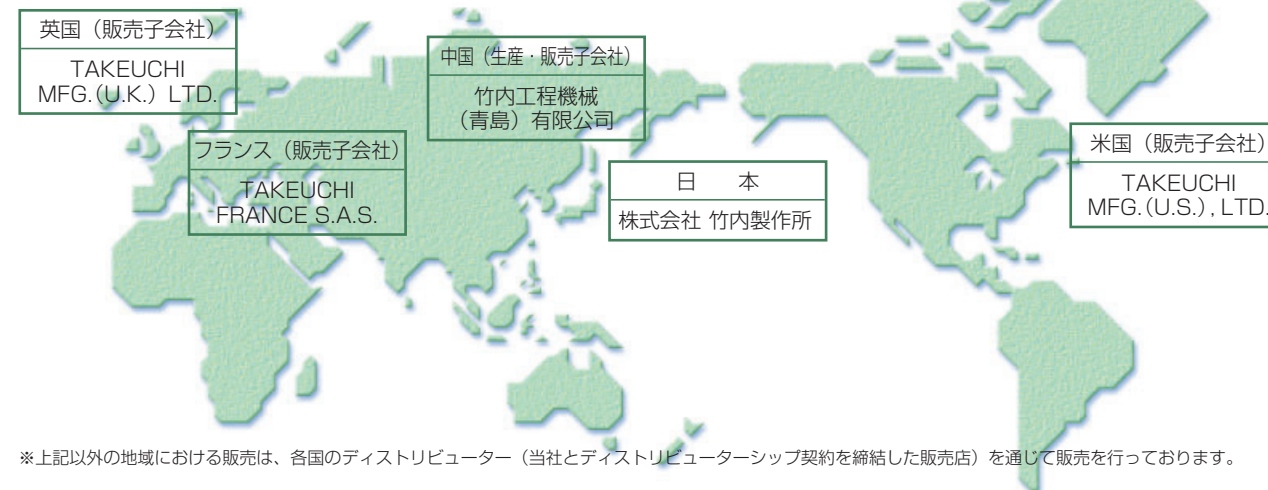
代表取締役社長 竹内 明雄
 常務取締役 宮崎 忠男
 取締役 伝田 林太夫
 取締役 柳町 猛夫也
 取締役 竹内 敏也
 取締役 真壁 幸雄
 常勤監査役 久保 欣一
 監査役 森田 弘毅
 監査役 植木 芳茂

(注) 常勤監査役久保欣一、監査役森田弘毅及び植木芳茂は、社外監査役であります。

■ 工場及び営業所

工場 村上工場 長野県埴科郡 営業所 東京営業所 東京都港区
 戸倉工場 長野県千曲市 大阪営業所 大阪市中央区
 千曲工場 長野県埴科郡 名古屋営業所 名古屋市中川区

■ ネットワーク



※上記以外の地域における販売は、各国のディストリビューター（当社とディストリビューターシップ契約を締結した販売店）を通じて販売を行っております。